

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が48例(男性31例(20歳代19例, 30歳代5例, 40歳代3例, 50歳代1例, 60歳代2例, 70歳代1例), 女性16例(20歳代9例, 30歳代1例, 40歳代1例, 50歳代3例, 60歳代1例, 80歳代1例), 未就学児1例(年齢性別非公開))あり, 累積報告数は374例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

○京都市衛生環境研究所にゅーす 令和2年度 第1号(通巻139号)(特集!新型コロナウイルス感染症!)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf>

- 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は1.77(76例)で前週の1.49(64例)からわずかに増加しました。全国では2.25で, 第19週の0.73から10週連続で微増傾向です。京都市及び全国ともに, 現在は流行している状態ではありませんが, 高温多湿で食中毒が発生しやすい気候が続いています。手洗いやうがいの励行, 食品の十分な加熱, 調理器具の消毒など予防に努めましょう。

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザの報告数は0で, 第23週以降, 7週間連続して全く報告がありません。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 4例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 137例(肺結核 61例, その他結核 28例, 潜在性結核感染者 48例)うち喀痰塗抹陽性 29例】
- 指定感染症:新型コロナウイルス感染症 48例【1月以降の累積報告数 374例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

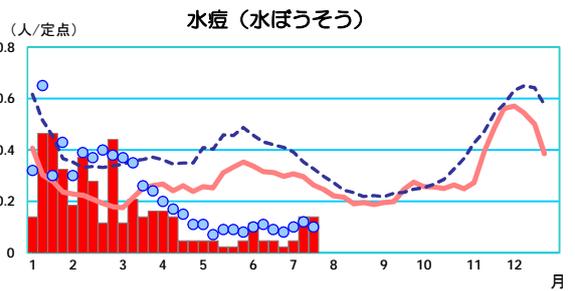
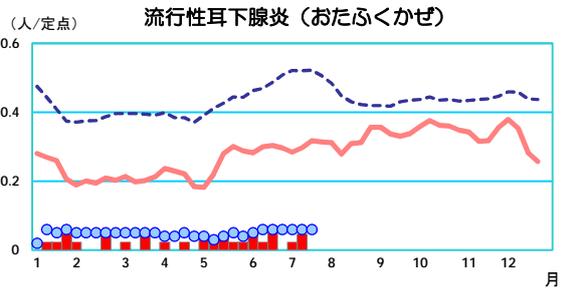
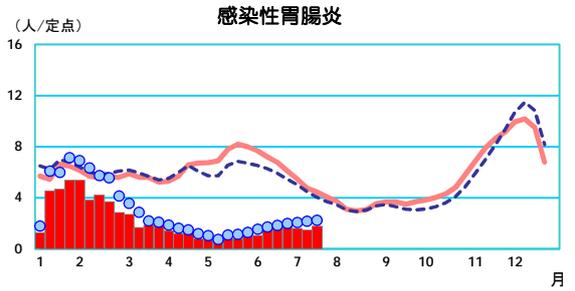
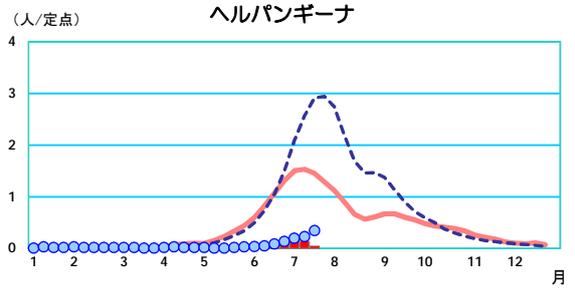
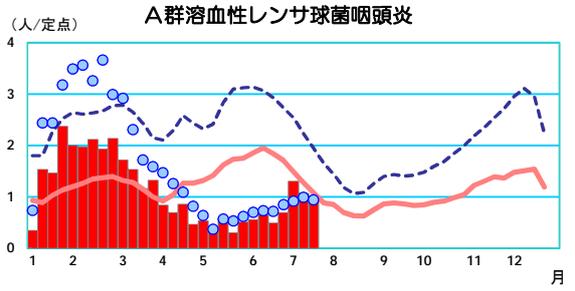
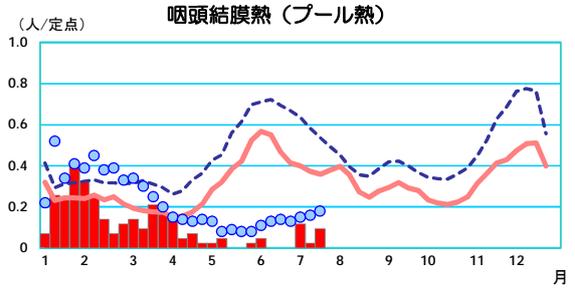
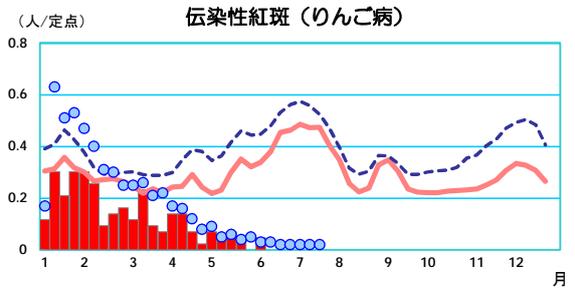
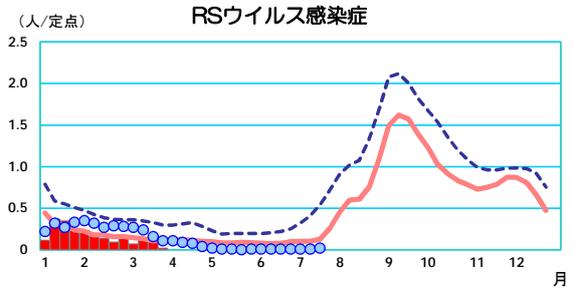
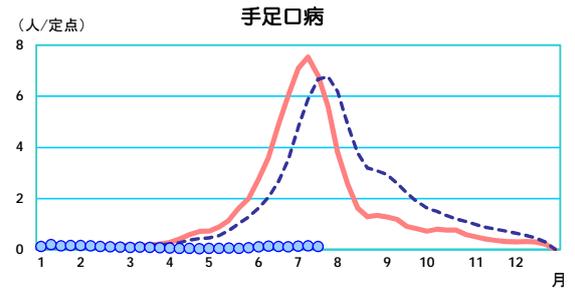
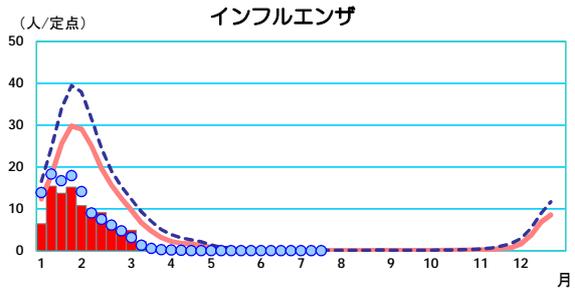
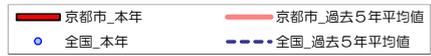
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.77	76
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	41
	③ 突発性発しん	0.49	21
	④ 水痘	0.14	6
	⑤ 咽頭結膜熱	0.09	4
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

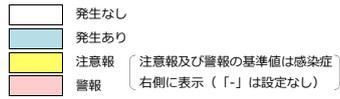
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス:<インフルエンザ>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 2020年7月22日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

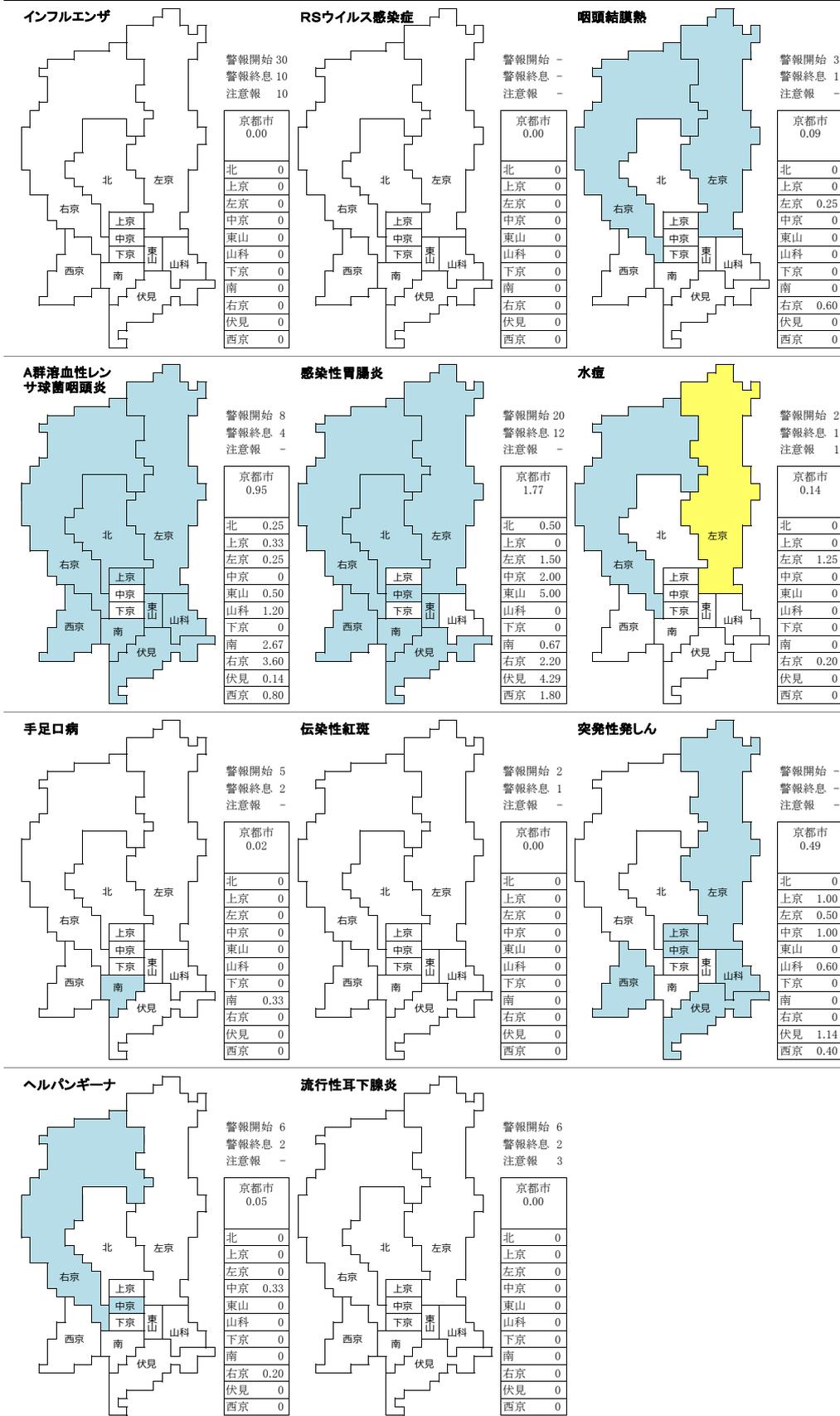
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第29週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



第29週(7月13日～7月19日)トピックス: <インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザの報告数は0で、第23週以降、7週間連続して全く報告がありません。第15週は12例の報告があったものの、第16週以降では、第16、17週に2例、第18及び22週に1例の報告があった他は、報告数0で推移しています。全国でも第17週以降は定点当たり報告数がほぼ0の状態が続いています。また、それ以前の、通常流行期とされる年末年始にかけては、過去5年平均値と比較してかなり少ない推移となっていました(表1及び図1)。

さらに、定点当たり報告数のピークを、2019/20シーズンと前シーズン(2018/19シーズン)で比較すると、2018/19シーズンでは京都市が47.71、全国が57.09だったのに対し、2019/20シーズンはそれぞれ18.28と23.24で、警報に至ることなく流行が終息しています(図2)。

2月17日(疫学週では第8週)に新型コロナウイルス感染症の受診目安として、「37.5度以上の発熱が4日以上継続した場合」が示され、流行終息時期と重なったこともあり、この時期の受診行動が例年と変化していたことも考えられます。5月11日には、「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状であっても、4日以上続く場合は必ず、自身の感覚で症状が強いと思う場合はすぐに相談する」と目安が変更され、現在に至っています。

新型コロナウイルス感染症の流行で、マスクや手洗いの衛生的習慣が広がりました。そうした予防に加えて、インフルエンザではワクチンの接種により発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果が見込まれています。

来シーズンのインフルエンザワクチンの株が決定されました。製造株の選定は、原則として世界保健機関(WHO)が推奨する株の中から、期待される有効性やワクチンの供給可能性を考慮して決定されます。インフルエンザワクチンは2015/16シーズン以降4価ワクチンとなりました。2020/21シーズンも4価ワクチンで、B/Phuket (プーケット) /3073/2013 (山形系統) は変更なし、他は変更となっています。

○2020/21シーズン インフルエンザワクチン製造株

A/Guangdong-Maonan (広東-茂南) /SWL1536/2019 (CNIC-1909)(H1N1)

A/HongKong (香港) /2671/2019 (NIB-121)(H3N2)

B/Phuket (プーケット) /3073/2013 (山形系統)

B/Victoria (ビクトリア) /705/2018 (BVR-11)(ビクトリア系統)

製造株の選定に関する詳しい情報については下記の国立感染症研究所のURLを参照してください。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flutoppage/2066-idsc/related/584-atpcs002.html>

表1 京都市及び全国の報告数・定点当たり報告数の推移(2020年第15週以降)

疫学週	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	28w	29w
京都市報告数	12	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
京都市定点 当たり報告数	0.17	0.03	0.03	0.01	0	0	0	0.01	0	0	0	0	0	0	0
全国定点 当たり報告数	0.09	0.05	0.02	0.01	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移(過去5年平均値との比較)

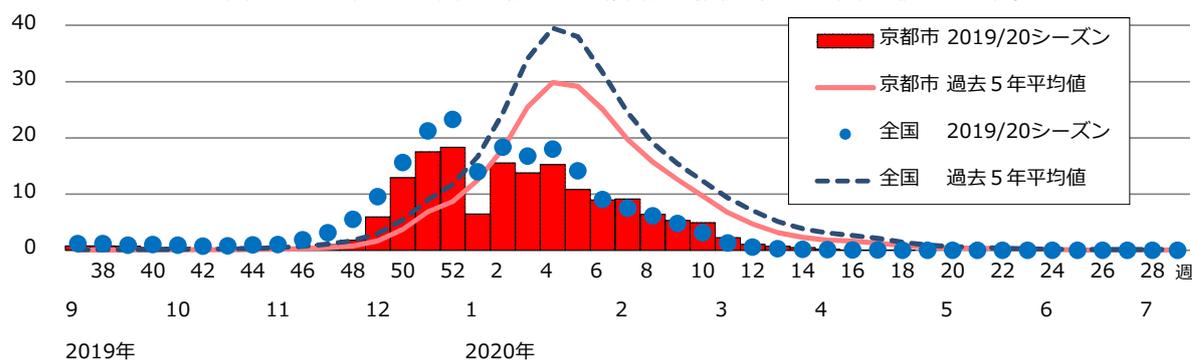
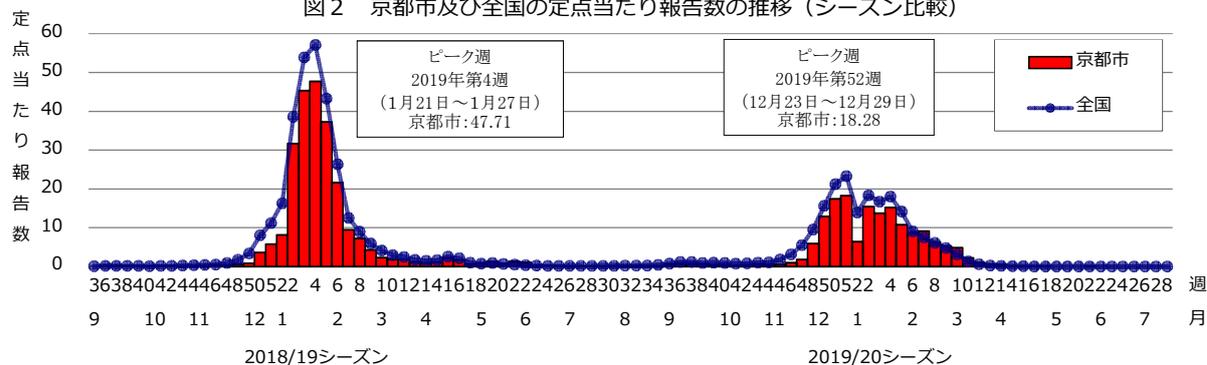


図2 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移(シーズン比較)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第29週

疾病,行政区別報告数

2020年7月13日～2020年7月19日

データ入手日:2020年7月22日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	1	1	6	5	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	6	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	6	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	8	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3	18	11	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	1	30	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	4	9	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	4	41	76	6	1	-	21	2	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	0.25	0.25	1.50	1.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	2.00	-	-	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.20	-	-	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	2.67	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.60	3.60	2.20	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.14	4.29	-	-	-	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.80	1.80	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.09	0.95	1.77	0.14	0.02	-	0.49	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第29週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年7月13日～2020年7月19日

データ入手日:2020年7月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		41	-	2	4	3	2	7	3	4	-	3	5	4	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		76	-	5	9	3	3	3	1	2	4	7	7	15	3	14	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		21	2	4	12	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.09	-	-	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.95	-	0.05	0.09	0.07	0.05	0.16	0.07	0.09	-	0.07	0.12	0.09	-	0.09	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.77	-	0.12	0.21	0.07	0.07	0.07	0.02	0.05	0.09	0.16	0.16	0.35	0.07	0.33	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	-	-	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.49	0.05	0.09	0.28	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第29週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年7月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	-	-	-	5	1	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	21	30	56	46	41
感染性胃腸炎	65	74	94	69	64	76
水痘	2	2	1	2	6	6
手足口病	8	8	2	6	2	1
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	15	10	28	19	20	21
ヘルパンギーナ	2	2	5	7	6	2
流行性耳下腺炎	1	3	-	1	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	5	-	3	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	123	121	165	165	150	151

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	-	-	-	0.12	0.02	0.09
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	0.49	0.70	1.30	1.07	0.95
感染性胃腸炎	1.51	1.72	2.19	1.60	1.49	1.77
水痘	0.05	0.05	0.02	0.05	0.14	0.14
手足口病	0.19	0.19	0.05	0.14	0.05	0.02
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	0.35	0.23	0.65	0.44	0.47	0.49
ヘルパンギーナ	0.05	0.05	0.12	0.16	0.14	0.05
流行性耳下腺炎	0.02	0.07	-	0.02	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	0.50	-	0.30	-
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.01	2.89	4.22	3.84	3.72	3.51

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。